

ひので 議会だより

手指の消毒

フェイスシールド
の着用

登庁時の検温



新型コロナウイルス感染症対策 を徹底し、議会を開催しました

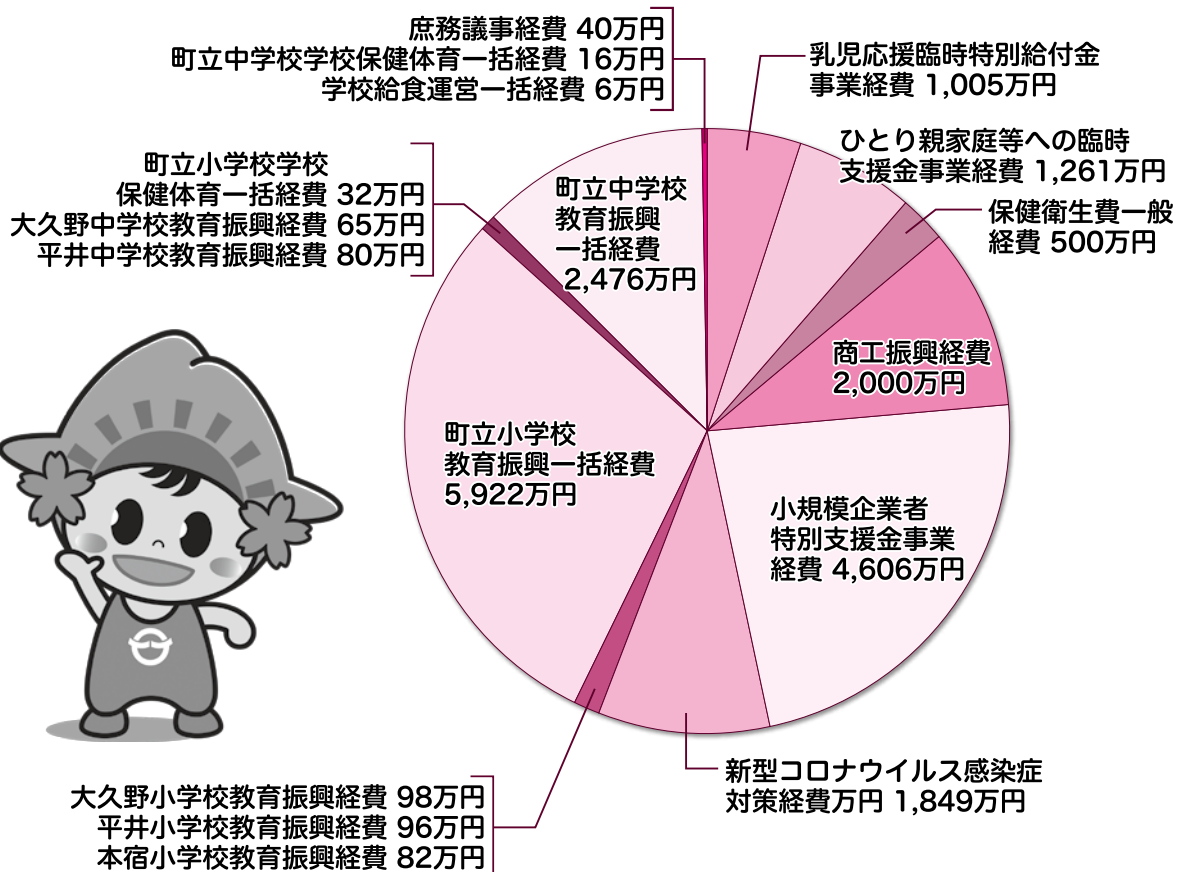
令和2年 第3回定例会

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2・3P
- ・ **一般質問** 「町政を問う」 13人の議員 5P
- ・令和元年度(2019年度)決算審査 12P

症対応地方創生臨時交付金

乳児応援臨時特別給付金 事業経費

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 20,134万円



新型コロナウイルス感染症 対策経費

豆知識

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付とは？

地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大の防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化等への対応を通じた地方創生をはかること目的とし、国が交付金を交付すること。

支給金額 3万円

令和2年5月31日時点で日の出町に住
民登録がある方のうち、令和2年3月
分から6月分までのいずれかの児童育
成手当（障害手当を
含む）を日の出町か
ら受給している方が
対象です。



日の出町の
独自施策だよ

問い合わせ先：
子育て福祉課子育て支援係



ひとり親家庭等への
臨時支援金事業経費

支給金額 10万円

令和2年4月28日～令和3年4月1日
に生まれた**赤ちゃん**に支給します。
(出生から申請日まで継続して日の出町に住民登録が必要)

申請期間

令和2年10月1日(木)

～令和3年5月31日(月)

役場から、児童手当の手続き等と併せて
手続きの案内が行われます。



日の出町の
独自施策だよ

問い合わせ先：
子育て福祉課子育て支援係



児童生徒一人一台の パソコンを活用する ためのLAN改修工事

1TBに対応できる設備へ

10月中旬 契約予定

11月上旬 校内LAN改修工事開始
1校ずつ順次施行

11月下旬 充電保管庫設置予定

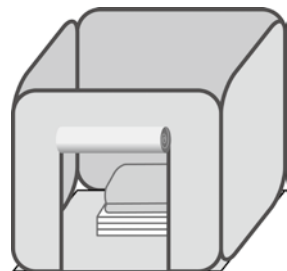
2月末 校内LAN改修工事完了予定

※年内を目途としていますが、部品の調達
や土日での作業となるため2月末としてい
ます。

町立小学校教育振興一括経費
町立中学校教育振興一括経費

避難所での新型コロナウイルス感染
症対策のため、以下の備品を購入しま
す。

- ・購入したものを保管するためのアルミ
製防災備蓄倉庫3棟
- ・区画を分けるパーテーションやテント
- ・折りたたみベッドやマット、使い捨て
スリッパ
- ・換気のための大
型扇風機および
コードリール
- ・その他避難所
において必要な備
蓄品



議 案 と 結 果

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	明	公	立	共	結 果
38	日の出町固定資産評価委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	承認
39	日の出町事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
40	日の出町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
41	日の出町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
42	日の出町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
43	令和2年度日の出町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	可決
44	令和2年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	可決
45	令和2年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可決
46	令和2年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可決
47	令和2年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	可決
48	令和元年度（2019年度）日の出町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	認定
49	令和元年度（2019年度）日の出町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	認定
50	令和元年度（2019年度）日の出町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	認定
51	令和元年度（2019年度）日の出町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	認定
52	令和元年度（2019年度）日の出町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	認定
53	日の出町道路線の認定について	○	○	○	○	○	可決

<議員提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	明	公	立	共	結 果
1	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	可決

<陳情>

番 号	陳 情 名	陳 情 者	結 果
2陳情第1号	台風19号により発生した災害の復旧を求める陳情書	宮田 清綱	不 採 択
2陳情第2号	請願権条例の制定を求める件	特定非営利活動法人 護民官 代表者理事 角田 統領	不 採 択

<各会派の名称と所属議員>

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★小玉 正義・濱中 映慈・東 亨・加藤 光徳・平野 隆史・木住野 智行・濱中 直樹	7 人
明 政 会	明	★田村 みさ子・清水 浩・萩原 隆旦	3 人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2 人
立 憲 民 主 党	立	★青鹿 和男	1 人
日 本 共 産 党	共	★折田 眞知子	1 人



一般質問

13人の議員

町政を問う

要旨



田村 田村 田村
みさ子

新型コロナウイルス感染症対策を問う

質 学校現場の状況は。

教育長 子どもたちが

安全安心に生活すると共に、学びを止めないため、「日の出町立学校版感染症予防ガイドライン」を策定し、これに基づいて6月1日より学校を再開した。感染防止対策を十分に講じながら、学びを止めないよう各学校と協議をしながら進めていきたい。

質 母子保健事業の現状は。

課長 当初予定の事業は、感染防止対策を徹底し実施を再開している。妊婦の方には都の補助事業を活用し、健診や通院による感染リスク軽減のため、タクシーチケットや衛生品等に使える「こども商

品券」1万円分の追加支援をしている。今後

も乳幼児健診等は、子どもの健康状態を定期的に確認し、相談できる大切な機会であることを周知すると共に、感染防止対策を徹底し、安心して健康診査が受診できるよう努める。

質 老人福祉センター等の各種プログラム再

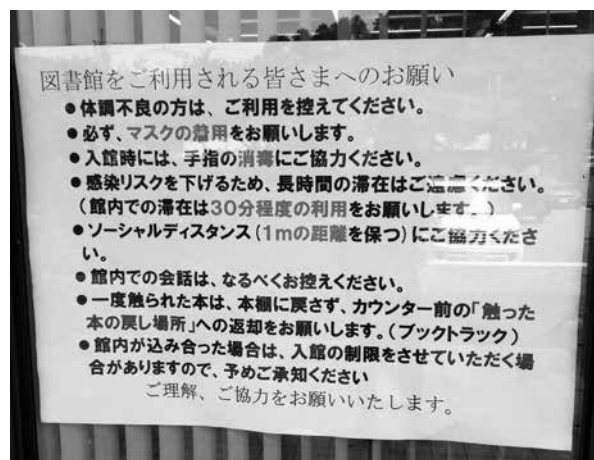


町では万全の対策のもと研修を実施

開後の状況は。
課長 在宅高齢者の活動量や運動機能の低下が懸念され、早期に事業再開が必要と確認し、予約制、事前の検温、健康チェック表の記載、会場の消毒作業など、後に再開される自主サークル活動等のモデルケースとなるよう計画した。7月は計6回、8月からは老人福祉センター等の独自事業も再開したが、自主サークル活動はさらに検討していく。



縄井 貴代子



公的施設の感染予防対策

出町成人式は、大久野地区・平井地区を分けて40分程度の式典のみを開催する予定。

質 デジタルシフトへの取組みについて。

町長 総務、福祉、教育などに関連する事項で、感染拡大防止と住民の利便性の向上の観点から、国や東京都の動向を見極めながら、引き続き実施していく。

質 西多摩広域行政圏と連携強化し、福祉施設等へのPCR検査実施体制と財政補助を国や東京都へ求める。

課長 町村会等を通じて要望している。東京都は小笠原諸島に行く小笠原丸での事前PCR検査をモデル事業として展開し、新たな財政補助を検討している。



中 直樹

コロナ禍の保育園・幼稚園について伺う

質 コロナ禍で、乳幼児の安全を守るために、幼児教育・保育事業従事者には従来にない精神的・作業的負担がかかっている。勤務中だけでなく、私的な時間でも自身が感染し、感染源となつてはいけないという思いから、会食や不要な外出を避け、またお盆休み期間中の登園数も多く、気の休まらない毎日を過ごしている。この状況を町はどう評価しているのか。

課長 新型コロナウイルス感染拡大前から、細心の注意を払って安全に園児を教育、保育していただいている。園児の安全のために頑張つてくださっている職員に対し、心より感謝している。

質 医療・介護事業従事者に対しては、国から慰労金が支給されているが、幼児教育保育事業従事者は対象となっていない。近隣では公立施設を除き幼児教育・保育事業従事者に慰労金を支給する議案が可決、または提案されている。幼児教育・保育無償化により約4、

200万円の町負担が軽減されたが、これを財源として慰労金を支給する考えについて伺う。

課長 新型コロナウイルス感染症がいつ収束するか見えない中で、個人に一度限りの慰労金を支給するより、園の運営を支援することで園児や保護者、職員の皆さんといった園全体を支えていくことが望ましい。国や都の支援と合わせて継続できる支援をしていきたい。



「新しい生活様式」にむけた諸施策の具現化について

質 教育分野における町のICT環境整備の進捗状況を伺う。

学校教育課長・室長 タブレット端末の購入、校内LAN改修工事、教員のスキルアップ研修会、児童・生徒のパソコン操作の習得等を進めており、万が一に備え、双方向でのオンライン授業体制の確立

を考えている。

質 文化芸術・スポーツ活動、町のイベント開催の見通しを伺う。

副町長 3密の回避や手洗い、うがい、ソーシャルディスタンスが確実に実行できるものから実施する。コロナウイルスに対して、ある程度の知見が証明されるまでは、保守的な考えで取り組む。

課長 徹底した感染予防のもと、次回の日の



平野 隆史

台風19号（令和元年東日本台風）について

質 町内における台風による被害復旧状況について。

町長 町内各所で災害が発生し、大自然の猛威を目の当たりにした。各課において、道路

水路、林道の復旧のための設計や復旧工事を

順次行っているところであり、令和7年度には、全ての災害復旧工

事が完了する予定。町

としても、早期の災害復旧に全力で取り組んでいきたい。

質 町が管理する河川及び水路等の状況について。

課長 肝要地区の二つの橋の撤去と河川の浚渫は、工事を実施するための測量設計委託を8月に行っている。その結果を元に令和2年



復旧が進む都道184号線

度内に復旧作業を終了する予定。支流の災害復旧については、羽生川の浚渫を補正予算に計上し、今月中に工事を発注する。水路の災害復旧については、細尾地区の水路の浚渫が7月に完了している。

質 民地の土砂崩れ等

の対応について。

課長 民地の土砂崩れは7件、町道に影響した。平井地区の1件は、

通行に支障があるため、土砂の撤去を町で行った。大久野地区の1件

は、地主の方に土砂等の撤去をしていただいた。公共施設に被害が

及んだ時や町民の生命に関わる被害以外は、

土地所有者、管理者の対応をお願いしている。



萩原 隆旦

予測不能の時代における町行政対応力を問う

質 大規模災害の頻

発、感染症拡大、テレワークの急速な普及

等、想定外の自然・社会事象が続いている。町行政の変化への対応

力は。

町長 台風災害、コロナ感染症という想定外の事態に追われつつも

行政の維持に努めてきた。その経験から、①正しい情報の把握、②情報伝達と共有の円滑



備えは？

化、③協力・連携体制の重要性を認識した。今後は、自治体業務の

基本であった「対面・書面・押印」から「遠隔・非接触・非対面」への

転換、デジタル化推進、テレワークなど職員の

働き方改革、非常時の業務継続計画（BCP）等が求められ、その対応組織、人材育成、具体的取組の検討を継続的に

に行っていく。

質 今後、スーパー台風、巨大地震、火山噴

火、感染症に加え、高齢者・障がい者などへの配慮を含む複合的災害対策が求められる。ハード面に加えソフト面からも対策強化の検討が必要では。

また、テレワーク普及により、働く人が都心近くに住む必要性が薄れることは当町の人口減少傾向を反転させうる好機。テレワークに適したまちづくりの必要性はないか。

副町長 災害対策におけるソフト／ハードの方向性は、東京都と連携して両面の対策を研究する。職員のテレワークはいずれ対応せざるを得ない。町内の若い世代の転出抑制の面からも、テレワークを行う民間の方々を受け入れやすいまちづくり検討の必要を感じる。

こ だま まさ よし
小 玉 正 義



令和元年度(2019年度)歳入歳出決算書
行政事務報告書

最近の「日の出町の中長期的な課題」について
質 毎年の決算での経常収支比率の改善に向けての取り組みを伺う。
町長 平成18年度以降、経費の削減に取り組んできたが、福祉施策の充実を図ったことから、経常収支比率は100%を超える状況が続いている。7つの独自施策は、所期の目

的を達成しているため、各制度の検証を行い、真に持続可能な福祉制度の構築が必要と考えている。具体的には、9月に福祉施策の検証会議を設け見直しの参考となる報告書をまとめ、年度末には中間報告をする。
質 国民健康保険の一般会計からの繰入金について伺う。
課長 一般会計からの

繰入金の解消については、国保財政健全化計画に基づき、計画的に解消していくことを予定しており、具体的に毎年度3%程度の国保税率の引き上げ及び収納率向上、並びに医療費適正化のための保険事業強化などを取組内容としている。
質 今後の町税徴収率改善策について伺う。
課長 改善を図るため、今年度より公益財団法人東京都税務協会が行っている「滞納整理業務に関する人材派遣」を利用し、税務経験者を派遣していただいている。

地域公共交通計画について問う
質 計画策定に当たって、どのような経緯に基づき行ったのか、町民の要望、要請などはあったのか伺う。
町長 「ぐるりん日の出号」は、利便性が悪いことなど見直しを求められていた。町民アンケートを参考に、地域公共交通会議で検討。北大久野、玉の内、本宿小学校周辺、日の出団地等の地域の公共交通空白地を解消することを目的に、運行を予定した。
質 町民への説明について。
課長 町民アンケート以降改めて意見や需要調査は行っていない。
質 細尾肝要・平井川北地区の交通空白地帯について。



き し とも ゆき
木 住 野 智 行

課長 細尾肝要地区は、路線バスがあるので、交通空白地とは考えていない。平井川北地区については、道幅が狭い等の問題があり、今後の課題である。通学している児童、生徒にあっては、定期券の補助を行う。
八幡神社周辺の災害防止対策について問う
質 災害・火災・緊急車両の活動等に支障をきたしており、道路拡幅について計画を伺う。
課長 当面、改修工事等の予定はない。
質 道路周辺の関係者全員からの道路

改修の要望が不可欠である。
質 道路排水、平井川への流水が未整備と思われる。雨水排水施設の整備計画について伺う。
課長 八幡神社周辺の現況測量を行い、高低差などの綿密な調査を実施し設計を行わないと問題解決は難しいと思われる。東京都の河川改修が早く進むことが当町の雨水処理改善につながるものと考えている。



災害防止対策地域



嘉倉 淳治

第5次日の出町長期総合計画と広域連携に関して問う

質 日の出町の公共交通機関としてJR武蔵引田駅北口の再開発は重要である。あきる野市との協議進捗は。

課長 協議会、協議の場はない。必要に応じた幅広い連携を展開していくものと考えている。

質 学校給食センターのあきる野市との協議は。

教育長 将来展望や合理性も加味し事務レベルで話し合いを始めたところである。

質 武蔵引田駅北口開発は町の第5次日の出町長期総合計画の観点からも町の振興発展、将来構想の大きな可能性を有している。市街化調整区域から市街化

区域へと都市計画マスタープランの変更をするべきだと考えるが。

課長 市街化区域への編入は多角的に検討していく必要がある。都市計画マスタープランではあきる野市、日の出町からなる「秋多都市計画」区域であり調整、調和は非常に重要であると考えている。

質 再開発計画で話し

合いの場が設けられていないと言うことは非常に残念である。市民の利便性等に寄与するため町長が積極的に関わっていくべきと考えるが。

町長 再開発計画は市施工ということであり参加することは難しいと考える。

質 あきる野市長が学校給食センターは市単独でやると表明された。広域での連携は。

教育長 結論として継続して協議を行うことになっている。



現在の武蔵引田駅



ひがし 東

とおる 亨

新型コロナウイルス感染症対策を問う

質 中長期の政策にどのような影響が考えられるか。

町長 従来の手法の検証・再構築に向け、知恵を絞って取り組んでいかなければならないと強く認識している。

質 補正予算について執行状況を伺う。

課長 経費の補正額は19億6,745万円。



旧平井老人福祉センター

標準授業時数の92%以上を達成することができると計画となっている。

新型コロナウイルス感染症状況下での家庭相談について問う

質 児童虐待の状況はどのようなになっているのか。

課長 3月からの状況は、身体的虐待6件、心理的虐待7件、計13件。例年と比較しても特別多いというわけではない。

旧平井老人福祉センターの解体予定を問う

質 今後の解体予定は。

課長 今年度、「旧平井老人福祉センター解体工事設計委託」を発注。廃材の数量やアスベスト調査等を実施し、住環境等に悪影響のない最適な解体工法を選定し、令和3年度に解体工事を計画している。

室長 「日の出町立学校感染症予防ガイドライン」を策定し、町内全ての学校において

ひろし
浩

しみず
清水



感染予防対策として十分な
手洗いをしている生徒

教育現場での新型コロナウイルス感染症対策について
質 教育現場での現状について。
教育長 現在、市内の児童・生徒には、感染者は出ていないが、新しい生活様式のもと、十分な感染予防対策を行うことが求められている。教育委員会としては、子供たちが安全・安心に生活するともに、学びを止めないた

め、「日の出町立学校版感染予防ガイドライン」を策定し、感染予防対策を行っている。
質 新型コロナウイルスによる影響と対策について。
室長 一学期の運動会・体育祭・宿泊行事等を二学期に移し、水泳指導や学校公開等は中止。感染予防対策として、原則マスク着用、毎朝自宅での検温と登校時に申告を実施している。

現在示されていないことから、原則マスク着用による感染対策を行っている。
質 レバー式蛇口導入について。
室長 感染予防対策として現在進めている。
質 トイレの感染予防対策について。
室長 各校二週間に一回業者清掃を委託。また、一日に一回以上教員やシルバーの方に消毒をお願いしている。



かとう
加藤
みつ
光徳

地域振興費を問う
質 交渉の進捗状況と現状等について。
町長 平成31年度当該協定の満了にあたり協議を重ねているが、現時点協定の締結に至っていない。
質 今までの交渉について。
町長 平成30年度から事務局レベルでの協議を開始し、現在、正副管理者との協議中である。
質 埋め立てが行われていない等、10年前と状況が変わってきているが、この点についての方針は。

繋がる協定締結を望んでいる。
質 協定額が決まらない問題点について。
課長 協定額が決まらないと、循環組合も本年度の予算執行ができず、町も歳入調定が不足が生じ、新たに予算措置を講じる必要がある。
質 本年度当初予算で諸収入10億円が計上されている。9月に調定額が入って来ない場合、キャッシュフローに問題は起きないか。
課長 万が一の場合基金等の繰り替えにより対応。
質 仮に協定額が減額となった場合、財政運営上の問題は。
課長 決算時に見込みが出た場合、起債や、基金の繰り入により対

応。
質 独自施策の検討委員会の開催日程と具体的な見直し案について。
課長 6月に、単独施策検討委員会の要綱策定、開催に向け調整中。委員会では、現状理解と今後の展望、関係する制度等の変化を踏まえ持続可能な制度となるよう意見を頂き、見直しの必要性の是非、変更内容の提案など報告書をまとめ、当初から目標数値を定めず、町・議会が最終的な判断の指針となるよう検討する。



折田 眞知子

コロナ感染拡大防止強化を求める

質 感染拡大リスクのある職種に対し繰り返し定期検査の実施は、

町長 定期的検査が重要であると認識している。自ら関係会議に出席しPCR検査センターの設置に協力をお願いし、実現した。疑いのある方に迅速に検査が実施できるようになり、成果が出ている。

質 避難所における感染拡大防止策は。

課長 発熱など、疑いのある方は発熱者専用「やまびこホール」を検討している。町医師会、阿伎留医療センターによる、遠隔診断など支援体制を作る必要がある。

質 秋川流域の保健所機能の再生は。

課長 保健所の疲弊は



日の出町ホームページに各種支援情報を掲載

顕著であることから、二次医療圏の保健所機能強化を町村会で要望している。

質 介護施設・福祉施設利用者減の支援策を。

課長 利用実態を把握し、事業者連絡会等で課題の把握に努める。

質 医療機関への減収

補填を国・都に求める取り組みを。

課長 阿伎留医療センターが極めて厳しい状況であることは認識している。関係機関と支援の在り方について協議を開始している。

質 コロナ対策支援・給付金制度の申請支援と周知は。

課長 窓口、ホームページ等活用、町として一体的にできることがあれば検討したい。



あおしか かず お 青鹿 和男



森の整備と農業の活性化を

とで林道の整備や間伐の実施などについて相続人の同意を得るにも連絡が取れず、管理上の問題となるケースが多発していると言われているが、そのような事例は。

課長 林道の整備を積極的に進めており、森林面積における林道密度は18・29m/haと都内

でも有数の密度を誇っている。その林道の開設にあたり地権者の確認を行っているが、相続登記がなされていない地権者もあり、林道開設に係る地権者の同意を得る段階では、苦慮している。

地権者不明箇所が実在しており、間伐を含む森林整備全体を考えると、今後、何等かの対策が必要となる。

人口減少時代の土地問題について問う

質 農地の登記簿上の名義人が死亡のまま新たに活用できない例が各地で生まれていると言われているが、そのような事例は。

課長 相続未登記農地の状況ですが、現在耕作されていて、畑等として機能している農地については、ないものと考えているが、所有者の追跡が困難なケ

スもあるのですが、相続未登記農地の可能性もあると考えている。今後、新規就農者の受け入れの際、まとまった農地の確保が必要であり、その処理に当たって相続未登記農地がある場合は、速やかに対応できるような努めていきたい。

質 林業の現場でも問題は深刻となつていく。所有者の死亡後、相続登記がされないこ

令和元年度（2019年度）

各会計の決算を集中審議（9月10・11日）

9月10、11日に決算を集中的に審査する予算決算常任委員会が行われ、活発な質疑応答が交わされました。
そして、16日の本会議最終日には、委員長による審査経過・審査結果の報告の後、採決により5つの会計決算全てが認定されました。

主な 質疑 Q & A

Q 補助金獲得の今後について

A それぞれ所管課において、国・都の補助金獲得を進めている。また市町村総合交付金は財政状況を勘案しながら都へ要望を行う。

Q 公債費比率が下がる見込みについて

A 複雑な要素がからみあっているが、残高増は、臨時財政対策債の増加が要因。投資的経費減少により事業債が減少している。引き続き地方債管理を適切に行う。

Q 特定目的別基金について

A 財政調整基金が年度末に10億円確保できるようになった。これを割込まないよう心掛けたい。

その上で、社会資本整備基金への積み増しを図りたい。

Q 税収への新型コロナウイルスの影響をどのように見通しているか

A 個人住民税は、高齢化により微減で進むと考える。新型コロナウイルスの影響を予想するのは難しいが、リーマンショックを参考に令和3年度、4年度に10%ぐらい落ちてくると予測している。法人住民税は100%以上のプラスになっているが、ある企業1社による増が非常に大きい。その社を除いた中で10%ぐらい落ちてくるのではと考える。

Q 消費増税による影響は

A 地方消費税交付金の歳入額に影響がでる。元年度は

10月分のみで、2年度に11月分以降の増額分が入ってくる。

Q 土地開発公社はそのまま残すのか

A 土地開発公社の借金がなくなつて3、4年経つ。その間、理事会では何回も検討しているが、用地の先行取得の代替措置を見出せない状況にある。検討を続けている。

Q 不用額を活用した予算執行について

A 毎年、財政調整基金の繰入金が多額となっている。基金残高が回復できない状況では復活予算等は慎重に扱わざるを得ないと考え

Q 今後の事務事業評価の進め方について

A 今まで、予算執行率を評価していた。今後は、施策と連動させ事業内容の評価を目指す。令和二年度決算から適用する新しいフォーマットを検討している。

Q 土地等賃借料の検討について

A 平成29年に賃借料の考え方を全庁的に示した。自動更新の廃止と原契約については、事業の必要性や解除も視野に入れた中で契約更新にあたる。契約期間も3年から5年を期限としている。

Q 人件費比率15・4%の改善理由は

A 今後も定員管理計画を基に、業務量と適正配置を勘

案しながら、コントロールしていく。

Q 経常収支の改善が進んだ、今後の見通しは

A 歳入の税收や地方消費税交付金の増減の影響を受け、変動を抑え込むことは難しい。今後、人件費や補助費の削減に取り組む。

Q 情報公開請求が50件、そのうち非公開42件の理由は

A 8月24日訴状を受け、議会にも報告した。訴訟に直結する内容と思われ、情報公開はできないと答えた。

Q 学童クラブ待機児童の状況・職員募集について

A 昨年4月時点で待機児13人いたが、8月に解消した。新型コロナ関係では、2月末時点で237人いた利用

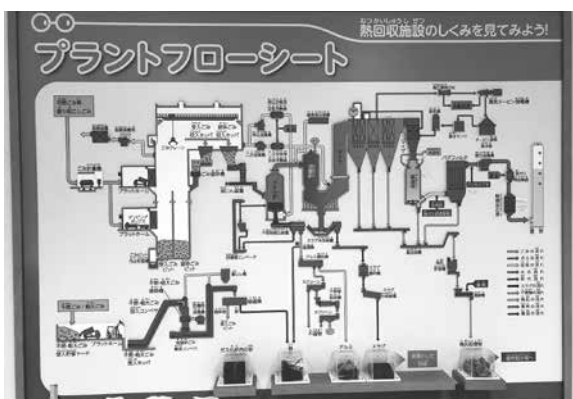
者が3月末には171人まで減少した。学童指導員は不足しており、募集を継続している。

Q 阿伎留病院企業団運営経費について

A 平成30年度事業債償還が終了したため減少。新型コロナの影響による運営経費負担については、企業団構成市町村と今後協議していく。

Q プラスチックごみ分別資源化について

A 西秋川衛生組合施設は熱回収施設であるため、構成市町村では資源化は検討されていない。熱回収施設を存続させ、熱を変換して発電リサイクル方式を継続する。



熱回収施設プラントフロー



西秋川衛生組合中央制御室

Q 給食費の公会計化について

A 現在、私費会計の給食費は口座振替である。公会計が良いという考えはもっているが、町単独の場合と広域連携の場合の2本立てで公会計を考えている。

Q 小学校のトイレ洋式化工事実施内容について

A 大久野小は既存の大便器31台から29台に、平井小は既存の大便器45台から40台とした。マルチシンク流し、配管給水管、天井、照明器具の改修も行った。

Q 教育現場全体における重要課題とは

A 社会的な要因もあると考えられるが、子どもたちのコミュニケーション能力向



明るくきれいになった各学校のトイレ

上が極めて重要と感じている。各教科で話し合いの環境を創っていきたい。

Q コンビニ収納代行委託料が年々増えているが、実態は。またフレジットカードなどほかの収納方法の検討は

A 銀行振込からの移行などでコンビニ収納が増えている。他の収納方法はコストの問題があるが検討している。

Q 職員の各課への配分見直しの頻度は。また技能職の採用状況は

A 年1回人事異動の際に見直している。技能職は車輛管理者1名、給食センター職員3名で、新規採用はない。

Q デジタルシフトが遅れているのでは

A 効果が見えにくい時代の流れであり、秋川消防署からの出火報を自動的に日の出町お知らせメールで送信できるようにしたなど、出来ることから実行していく。

Q 塩田農産物普及センター事業の指定管理料が上がっているが、採算性についてどのような理解をしているのか

A 赤字体質が脱却できない状況、日の出トマトをどう維持していくか、今後検討しながら、場合によってはセンターの閉鎖も含めて考えなければならぬ。

Q 新規就農者が、1年1、2年全くないと理解しているが、今後、この事業をどうするのか方針を伺う

A 担い手の高齢化、従事者の高齢化の中、新規就農者の受け入れは重要。農地確保を行いながら、今後受け入れを考えていきたい。

Q 空き家調査結果で150件程度あるという報告があったが、現状について伺う

A 平成28年に調査を行い、130件ほど空き家がある。固定資産税については、建物が建っていれば土地について6分の1軽減等が適用されている。

Q 町道植栽管理委託料は、年1回程度の手入れなのか。町民から問い合わせが

あった場合、どのような対応をされるのか伺う。

A 年2回を目安に予算の範囲で行っている。

Q 橋梁長寿命化修正計画の調査結果はどのようなことが修正されたのか伺う。

A 27橋を対象に状況を把握し点検、健全度が1から4までの4段階あり、ほぼ問題なしが5橋、予防保全の観点から速やかに補修を行う必要がある21橋、橋梁構造の安全性を速やかに対応する必要がある1橋。予算の範囲で補修を随時行っていくたい。

Q セーフティネット保障4号認定について伺う。

A 新型コロナウイルス感染症の影響で、売り上げが減

少している事業者も対象になり、前年度と比較し20%以上減少していることが要件となっている。

3月末時点で12件、8月末現在で81件の認定を行っている。

Q 河川映像化監視システムの今後の設置について伺う。

A 河川カメラ、水位計等の設置の必要性について、西多摩建設事務所からも問い合わせがあり、候補を選定し、報告をしている。状況をみながら今後も検討していく。

Q 災害復旧・復興基金の充当について

A 建設課の事業は100%地方債を利用して行い、令和2年で終了する。林道の

災害復旧は令和7年度まで計画があり、基金を活用する。

Q システムサーバ接続障害の発生について

A 庁舎で使用しているパソコンからインターネットへの接続が不能になった。委託業者の説明によれば、故障箇所の特定に時間がかかったが、再発防止に努めると聞いている。

Q 自治会回覧のデジタル化は可能か

A 紙ベースでないと不便な方もいる。より良い方向に今後の検討としたい。

議 会 日 誌

12月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/15	16	17	18	19	20 議会運営 委員会	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30 本会議 (議案審議)	12/1	2 本会議 (一般質問)	3	4 総務 まちづくり 常任委員会	5
6	7 厚生文教 常任委員会	8 議会運営 委員会	9	10	11	12
13	14 本会議 (議案審議)	15	16	17	18	19

会議日程は、変更となる場合があります

請願・陳情は！

12月の定例会では、11月13日までに受理したのについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

平成28年9月20日より、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱が制定されました。

- 件名は、おおむね50字以内、趣旨、及び理由は合わせておおむね1,500字以内としてください。
- 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。(開庁時にご来庁願います。)
- その他、詳しいことは議会ホームページの、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱または議会事務局まで問い合わせください。

議会だより編集委員

木住野 智行 縄井 貴代子 濱中 直樹
青鹿 和男 折田 眞知子 萩原 隆旦
(編集委員長)

発行 日の出町議会

編集 議会だより編集委員会

〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780 TEL 042 (597) 0511 FAX 042 (597) 4369

再生紙を使用しています。

(仮称)東光院橋新設工事の入札経過について

(仮称)東光院橋新設工事の入札経過について、9月16日開催の全員協議会にて町執行部より議会へ以下のように報告がありました。

令和2年8月13日の指名選定委員会にて20社を指名し、9月3日に入札を行いました。その結果として、事前辞退が19社、不参加が1社で参加者0社という結果に終わり不調となりました。不調の主な原因としては、技術者の確保・配置が困難ということで、業者としても応札することが難しく、町としても苦慮している状況。

しかしながら、町として実施すると決定している事業でありますので、今後について、利用が想定される自治会の皆様へ説明会を実施したいところではありますが、コロナ禍の影響により全員への説明は難しいこともあり、関係者の方々、自治会長、地元議員の方と協議しながら決定していきたいと考えています。

編集後記

秋もだいぶ深まってまいりました。例年ですと町内外の各地で笛や太鼓の音色が聞こえ、実りの秋を祝ってお祭りが行われていたことでしょう。でも今年はちがいます。我慢の年です。早々の疫病退散、町民の皆様のご健康を願うばかりです。

九月定例議会はコロナ禍の中、本会議場の換気効率を良くし各席に飛沫防止フィルムを取り付け通常の日程で行われました。特に今回の議会では「令和元年度決算審査」などが行われました。

これからもわかりやすい議会だよりの紙面づくりに取り組んでまいります。皆様のご意見をお気軽にお寄せください。よろしくお願いいたします。

編集委員 木住野 智行